

報道関係者各位

令和6年2月吉日
安久美神戸神明社
豊橋技術科学大学

豊橋鬼祭 「おにどこ」奉納式を斎行します

豊橋鬼祭に際し、アプリ「おにどこ」の完成を奉告し、無事運用を祈願する祭典を行います
祭典では、実際にアプリを起動し、AR（拡張現実）技術による赤鬼が投影されます

安久美神戸神明社（愛知県豊橋市八町通3丁目17番地、宮司 平石 雅康）では、2月10日（土）11日（祝・日）に行われる豊橋鬼祭に先立ち、おにどこ実行委員会によるアプリ「おにどこ」の完成を奉告する「おにどこ」奉納式を斎行いたします。

祭典では、御神前にアプリ完成を奉告すると共に、「おにどこ」アプリを奉納して鬼祭におけるシステムの無事な運用及び、より一層の鬼祭への寄与を祈願いたします。これまでにも「おにどこ」のような「祭事に関わるアプリやシステム」の事例や、またデジタル絵馬やNFTのお守り、ホームページの奉納などといった「デジタル技術による作品を奉納する」という事例はそれぞれありましたが、今回のように「祭事に関わるデジタル技術（アプリやシステム）を奉納する」というのは、全国的にも極めて珍しい事例となります。

記

- 日 時 令和6年2月7日（水）16時より
- 場 所 安久美神戸神明社（豊橋市八町通3-17、電話 0532-52-5257）
- 奉納者 おにどこ実行委員会 (o2doko@usl.cs.tut.ac.jp)
 - ・豊橋技術科学大学 ユビキタスシステム研究室（大村研究室）
大村 廉
 - ・豊橋技術科学大学 建築設計情報学研究室（水谷研究室）
水谷 晃啓
 - ・株式会社 ウェブインパクト
木村 博司
- 受 付 取材を希望される報道関係者は、当日15時40分までに社務所受付にお越しく下さい。
- 撮 影 奉納式祭典の様子は殿内にて撮影を行うことが可能です。
※ARは社殿内設置のディスプレイおよびスクリーンに投影するため、社殿内を暗くする場合がありますので、ご了承ください。

以 上

アプリ「おにどこ」とは

アプリ「おにどこ」はIT/Iot技術を用いた街づくりや、街なか活性化の一貫として、豊橋技術科学大学ユビキタスシステム研究室（大村研究室）・建築設計情報学研究室（水谷研究室）・株式会社ウェブインパクトにより開発されました。研究としてだけでなく、街なか活性化、地域活性化の先端的な取り組みとして日本全国・世界へ発信し、豊橋や豊橋鬼祭の活性化につなげるためのアプリです。